

# 明和民報

2020年秋号  
発行社登  
明和民報  
長谷川  
山大淀2997-1  
FAX55-2686

## 九月議会 田辺ひとみ議員の一般質問

### 加齢性難聴者の補聴器購入補助について



町議会議員  
田辺ひとみ

補聴器購入の補助制度の創設。健診の導入などの検査の提案を行いました。

近年、高齢者人口が増え続けています。

高齢者は聞こえが悪くなって日常生活に不便を感じても、補聴器の購入代金があまりにも高くて買つことをあきらめている人が少なからずいます。65歳以上の2人に1人が難

聴で生活の質の低下につながるという実態があり、認知症のなかでは難聴が最大のリスク因子であることが2017年の国際アルツハイマー病会議で発表されています。

国の補聴器購入に対する補助制度は、聴覚障害に限定し、加齢性難聴者の多くは自費購入です。全国では、自治体独自の補助を行い、高齢者に対する補聴器の支給等を実施しているところがあります。

高齢者の皆さんは、長年にわたって社会に貢献されてきました。

豊富な知識と経験を有する者として「敬愛される」ともに、生きがいを有する健全で安らかな生活を保障される」と老人福祉法に明記してあります。高齢者が安心して暮らせる社会を作ることとは地方自治体としても責任を持って取り組むべきです。

コロナ対策で無策の自民党政治を終わらせ

# 新しい日本を ごいっしょに

日本共産党 は呼びかけます

## 新しい日本へ『7つの提案』

- 1、ケアに手厚い社会  
医療・介護・保育…命を守る労働を大切に
- 2、人間らしく働ける労働のルールある社会
- 3、一人ひとりの学びを保障する社会  
少人数学級の実現、学費を半額に
- 4、危機にゆとりをもって対応できる強い経済  
消費税減税、内需家計・中小企業応援
- 5、科学を尊重し信頼される政治が行われる社会  
PCR検査の抜本拡充でコロナ感染抑え込みを
- 6、文化・芸術を大切に  
文化・芸術への予算増を
- 7、ジェンダー平等を実現する社会  
「世帯主」制度の廃止を

### ひとみの日々あれこれ

#### 日本の教育と研究を 柔軟な形に

ある研究者のお話を伺いました。

マニアックな分野の研究が評価されない。

専門的な分野を追求することへの国の支援がどんどん削られている。

研究者の身分保障もされていない日本の現状。

こんなことでは今の子どもたちが将来研究の道に進みたくても進めない。

お話を伺って、思うこと。

自由な発想で学び知る機会を失ってしまうのは社会的に大きな損失です。

政治や経済の劣化が進む今の時代。

大切なものを切り捨ててきた代償は大きいと思います。学習する権利や自由が保障される社会への転換を！